

旅

する食堂

第26皿

愛の国

地図上の
一皿



食いしん坊・大谷浩己

約1か月間すしの試食が続き、20軒を回った。それでも飽きないのだからけっこう好物なのだ。ゆる燗呑みながら軽く酒肴をつまみ、握りにいっても呑み続けるのがオレ流だ。

男性読者の皆様におかれましては、2月14日にはさぞ大量のチョコレートを頂戴したことと思う。そして、3月14日にはホワイトデーが待っている。

聖バレンタインの殉教に因んだこの日に欧米では恋人たちや親しい友人同士が、カードや花束、お菓子などを贈る。しかし、女子が男子にチョコを贈るといのはわが国独特の風習で、これは1958年、デパートでチョコ業者が行なったキャンペーンに因むというのが通説になっている。そして78年、全国館菓子工業協同組合がアンサーデーとして3月14日を、チ

ョコレートのお礼として館を贈るホワイトデーとして規定した。皆様におかれましては実もフタもない高度資本主義的現実である。とはいえ、ここはひとつ贈ってくれた女子に逆らっても愛は育まれない。あまりお金がかからない、気の利いたお返しはないかと、担当編集者と頭をひねった。そして、春らしいイチゴのタルトにシャンパーニュを添えて、午後のひと時を過ごすのはどうかということになった。

このタルト、生地と載せたイチゴの相性が抜群だ。バター効いた生地がイチゴの酸味があるジュ

ーシーと一体化するのがすばらしい。そして、その風味が残る舌にそっとシャンパンを流し込む。泡が優しく舌を刺激し、イチゴとシャンパンがデュエットを奏でる。ああ、春や春である。

予算は約1600円×2。これがもらったチョコの対価として適当なものかどうかは責任持てないが、少なくとも食事をご馳走するよりははるかに安価。素敵な貴女は3倍返しなんていわないでね。もうひと押しという方には、近所のパティスリーショップで、極上のマカロンを添えるのはいかが。これでダメなら、男はつらいよ。



春のよき日の午後、 バレンタインの返礼に…… シャンパンと 「タルトフリーズ」

あわせて
1554円

JR山手線有楽町駅から徒歩2分
【ブラスリーオザミ】 東京都・千代田区

東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル1F ☎03-6212-1566
営業時間：月～金11時～24時(LO)、土日祝11時～23時(LO) ※無休
※テーブル36席。「日替わりランチ」は前菜と魚か肉のメインで1050円。ディナーは、前菜、メイン、デザートで4725円～。14時～17時はお菓子とシャンパンだけの利用可。「タルトフリーズ」525円、グラスシャンパン1029円。

撮影 岡山寛司 本誌担当 細川達司